2026 11/10
No.2270
毎月第2・第4火曜日発行

政経かながわ

一般社団法人
―神奈川政経懇話会―



高校野球の秋季関東大会は10月27日、群馬県の上毛新聞敷島球場で決勝が行われ、横浜が健大高崎（群馬）を下し、２年ぶり５度目の頂点に立った。

神奈川新聞社



政経かながわ

2026 11/10 No.2270

contents

視点点描 3
定数削減の行き着く先

特集 4
自己責任化する子育て
格差浮き彫り、公共心低下
「社会に支えられた」経験必要

政治双眼鏡 8
分断志向の「異形の政治」
首相の独走に歯止め利かず

経済双眼鏡 9
「選挙マシン」が仲裁したＡＩ自主規制

よんななエコノミー 10
若者の結婚・出産意欲の低下が止まらない

水谷竹秀×リアルワールド 11
アジアで広まる「ちいかわ」
爆発的人気で社会現象に

管理職はつらいよ！ 12
コミュニケーションは「意味」
と「意識」の両方が必要

言葉をことばで考える 13
ひもとくの意味は？

かながわＴＯＤＡＹ 14
10月の主な経済ニュース

事務局だより

◇2026年11月定例講演会
11月19日(木)午後１時30分～３時
神奈川県民共済13階大会議室(桜木町駅近く)
講師：料亭田中家５代目女将
平塚　あけみ氏

◇2026年12月定例講演会（シンポジウム・会員交流会）
12月21日(月)午前11時～午後１時30分
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：
共同通信社政治部長　林　　浩正
共同通信社経済部長　辻村　元樹
共同通信社外信部長　井上智太郎
神奈川新聞社論説主幹　鈴木　達也
演題：2027年の動向を読む

◇2027年１月定例講演会
１月15日(金)午後１時30分～３時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：参議院議員
三原　じゅん子氏

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局☎045（226）2121。

視点点描

定数削減の行き着く先



衆議院の選挙制度改革に関する政党間協議で、自民、日本維新の会、国民民主の3党が、比例代表の定数を現行の１７６から31削減することなどで合意した。12月12日までが会期の今国会中に、関連法案が成立する見通しだ。

与党内にも不満がくすぶる妥協の産物らしいが、問題は削減によって何が起きるかだ。多様性の時代に、さまざまな思いを反映できる比例を減らすことは、時代に逆行していないだろうか。

「政治とカネ」

全員参加の政治は難しい。そこで、選挙で選ばれた代表が国会や議会で法律や予算などを決定していくのが代議制民主主義である。だからこそ、選挙制度はいかに民意を反映できるかが大切になる。

しかし、１９８８年のリクルート事件や92年の佐川急便事件など「政治とカネ」の問題が大きくクローズアップされた際、クリーンな政治への転換が声高に叫ばれ、企業・団体からの寄付を抑えようと政党交付（助成）金が設けられた。そして、選挙制度も政権交代が起こりやすくなるよう、94年に現在の小選挙区比例代表並立制に変わり、96年からこの制度で衆院選が行われている。

この間、確かに政権交代は起きた。だが、得票（民意）と議席数が乖離（かいり）する問題は放置されたままだ。

民主党が大勝して政権交代につながった２００９年と自民党が政権を奪い返した12年の衆院選。県内小選挙区（18選挙区）の得票と獲得議席はこうなっている。

〈09年〉
自民＝約１７７万票、３議席
民主＝約２３２万票、14議席

〈12年〉
自民＝約１７６万票、14議席
民主＝約83万票、１議席

確かに09年は民主への期待感はあった。一方で、12年は自民待望論というほどの得票には見えない。民主への失望が自民の大勝を生んだに過ぎない。

遠のく多様性

得票に見合わない大勝は、政権を傲慢（ごうまん）にする。12年の自民大勝後、違憲の疑いがある安保法制の改定が矢継ぎ早に進められたことは記憶に新しい。

高市早苗首相の国会運営にも傲慢さが垣間見える。今回の比例定数削減は得票以上の大勝を生む可能性を秘め、多様な民意の反映が遠のく。むしろ小選挙区の見直しこそ急務なのだが…。

（神奈川新聞社統合編集局
編成部長・佐藤　英仁）